

校 種	小学校	教科	社会	観点・内容	観察・資料活用の技能
-----	-----	----	----	-------	------------

### 〈 調査結果の特徴 〉

- ・ 観点別では、観察・資料活用の技能で、県平均正答率を8ポイント上回った。
- ・ 内容別では、飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理が、県平均正答率を11.9ポイント上回った

### 〈具体的な取組〉

社会科から見た本校の課題は、①学区内等身近な地域の施設の利用②児童の学習状況の評価を指導の改善にどう生かすか。③社会科学習室・資料室の整備である。課題解決に向かい、地域や学校の実態を生かし指導と評価の計画を作成し活用することや社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着と、それを生かして考えることに努めている。また、資料活用能力を高めるとともに、体験的な学習や問題解決的な学習の授業展開に努めることである。

#### 1 授業に生かす環境づくり

- (1) 校内社会科資料室の地図等がすぐに活用できるように整理する。
- (2) 社会科・総合的な学習の学習室の調べ学習資料の整備
- (3) いつでも目で見て触って体験できる小さな移動資料室づくり（3・4年の廊下に設置）

#### 2 授業に生かす体験活動

- (1) 学校に隣接する宮代郷土資料館の昔の道具等の活用と体験活動
- (2) 宮代山崎・行田浄水場、衛生組合社会科見学
- (3) エコライフデー（家庭の電気ダイエット）宮代キッズエコライフ（電気・ガス・水道・自家用車メーター数値調べ）自分たちの生活体験から考える。
- (4) 宮代江戸の日（家庭において、江戸時代の体験）の実施や各学級にエコ係を置く。
- (5) 各学級に3つのゴミ箱を設置し、ゴミの分別とリサイクル体験

#### 3 基礎的・基本的な知識や技能の習得

- (1) ワークシートや社会科新聞作り
- (2) 家庭学習のプリント（地図記号や白地図）
- (3) 板書・ノート指導の徹底
- (4) 町非常勤講師とT・T授業を行い、一人一人にきめ細かな支援を行う。

#### 4 授業展開の工夫（参考指導案 4年水はどこから）

- (1) 導入では、体験したことや前時までの資料を活用し課題意識を持たせる。
- (2) 一人一人が作成した関係図（自分・飲料に係わる仕事・ダムや森林の働き）をもとにグループで話し合いわかったことをまとめる。（児童の資料作成と活用）
- (3) 水の使用量のグラフから、水利用の今後について考える。（グラフの読み取り）
- (4) 今後さらに調べたいことを、環境教育、エコ、節水の観点につなげていく。（自分の生活に生かす。）

### 〈取組の成果〉

24年度の調査結果は、4教科とも、県平均を上回った。社会科学習においても、前年度の調査結果の分析をもとに、日々の授業の工夫・改善に各学級で取り組んだ成果といえる。今後も引き続き、さらに、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をつけさせたい。

